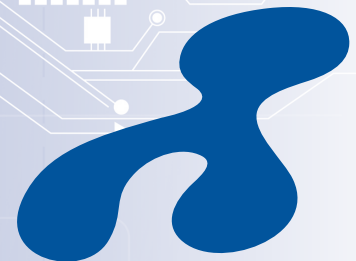


第24期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日



One Step Ahead of The Game
Asgent
アズジェント

株式会社 アズジェント

証券コード：4288

FINANCIAL HIGHLIGHT

財務ハイライト

期末決算

単位（百万円）

経営成績	当 期 (2020 年4月 1 日から 2021 年3月31日まで)	前 期 (2019 年4月 1 日から 2020 年3月31日まで)
売上高	2,795	3,126
営業利益又は営業損失（△）	△52	44
経常利益又は経常損失（△）	△38	61
当期純利益又は当期純損失（△）	△51	45
1 株当たり当期純利益又は当期純損失（△）（円）	13.55	11.96

財政状態	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
純資産	1,493	1,542
総資産	2,190	2,403
1 株当たり純資産額（円）	391.52	404.35

財務指標	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
流動比率	286.0%	245.2%
自己資本比率	68.2%	64.2%

（注）本報告書中において百万円及び千円単位で表示している金額は、単位未満を切り捨てております。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
今般、第24期報告書（2020年4月1日から2021年3月31日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、2020年4月に政府より緊急事態宣言が発出され、国内消費は大きく落ち込みました。同宣言解除後は経済活動が段階的に再開し、政府主導の景気対策も講じられてきました。しかしながら、2021年1月には1都2府8県を対象とする緊急事態宣言が再発出され、3月には緊急事態宣言解除されたものの第4波の到来が懸念されるなど、新型コロナウイルス感染の収束は見通しが立っておらず、極めて厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社は、次代を先取りしたオンリーワン商品の投入と、当社セキュリティ・ノウハウを組み合わせたハイブリッド型サービスビジネスを加速させると共に、これまで培ってきたイスラエルとのコネクションを生かした投資育成事業を推進させることに注力しております。また、公共やエンタープライズ向けのITセキュリティ分野に加え、新しい市場の立ち上がりが期待されるIoT及びコネクテッドカー分野を含めたセキュリティ市場を対象に、グローバルな新潮流を体現した独自のポジショニングの確立を図ります。当事業年度は、コロナ禍の影響による販売チャネル並びにエンドユーザーにおけるシステム構築や納入の遅れが年間を通じて生じたものの、中長期的な成長基盤を確実なものとするための取組は継続的に実施してまいりました。

今後は、当社のミッションである「アズジェントは業界に革新を起こし、セキュアな社会を実現します。」を具現化することで、サイバーセキュリティの新潮流であるゼロトラストアーキテクチャーを高度に実現するソリューション等、サイバーセキュリティ総合ソリューションベンダーとして、一層の業容拡大と業績向上に努めてまいります。企業価値の増大を実現することで、株主のみなさまの信頼とご期待に沿えるよう社業に邁進する所存でございますので、何卒、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

杉本 隆洋

中期的な経営戦略

サイバーセキュリティを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として社会に浸透したテレワーク等働き方の変化やDXの進展、さらにはIoTの普及に伴い、サイバーリスクの及ぶ範囲とその被害は大幅に拡大しております。こうした状況もあり、日に日に高度化、複雑化するセキュリティ対策が、社会の重要項目になってきております。

このような環境の下、当社は、セキュリティ事業におけるオンリーワン商品の投入と、当社セキュリティ・ノウハウを組み合わせたハイブリッド型サービスビジネスの加速に経営資源を集中させると共に、これまで培ってきたイスラエルとのコネクションを活かした投資育成事業の推進に取り組んでおります。公共やエンタープライズ向けのITセキュリティ分野に加え、新しい市場の立ち上がりが期待されるIoT及びコネクテッドカー分野を含めたセキュリティ市場を対象に、グローバルな新潮流を体現した独自のポジショニングの確立を図ります。

以上の方針に基づき、具体的な施策を実施いたします。

1. 【ITセキュリティ事業】

プロダクト関連においては、まずは既存商品の販売基盤強化を図ります。主力のCheck Point社製既存商品や自治体における無害化ディファクト商品である「VOTIRO Disarmer」の販路拡大を継続的に努めます。また、OS分離ソリューション「Hysolate Workspace」がテレワークやBYODにおけるセキュリティ対策の有力ソリューションとして関心度が高まってきているほか、Check Point社のSASE（サシー）セキュリティソリューション「Harmony」はクラウドの進展に伴いニーズが顕在化してきております。これらの販売強化を進めつつ、中期的には新商品を継続的に追加していくことで、市場の新しいニーズを取り込み、事業成長につなげてまいります。

サービス関連においては、品質向上や体制強化、設備投資を継続的に進めることに加え、コロナ禍においても伸長しているクラウド関連のセキュリティ対策分野での対応強化を図ることで、ストックを増加させ、収益基盤を強固なものとしします。

2. 【IoT/コネクテッドカーセキュリティ事業】

昨今、エネルギー系インフラがサイバー攻撃を受ける等、IoT分野におけるセキュリティ被害が急増しており、今後IoT分野のセキュリティ市場も大きく伸長することが予想されております。IoT製品の開発やテストから運用までのトータルセキュリティを実現し、既存のIoT機器や運輸車両等に対してもOTA機能を利用しファームウェアを修正することなくモニタリングを可能とすることで、市場からの関心が高まってきているKaramba社の「Karamba's Total IoT Security」の拡販をはじめ、中長期的な市場拡大に備えた取組を継続してまいります。また、コネクテッドカー関連で現在進行しているいくつかのプロジェクトの中で、採用の最終選考段階まで進んでいるものがあります。採用が決定すれば、コネクテッドカーのセキュリティ対策のデファクトとなるため引き続き採用に向けた活動を推進してまいります。

3. 【投資育成事業】

当社が長年培ってきたコネクションを活かし、イスラエルのセキュリティ関連のスタートアップ企業に対し投資を行っております。セキュリティ事業とのシナジーが期待でき、培ったコネクションと実績が活かせるイスラエルのセキュリティスタートアップ企業への投資を継続してまいります。実績の1つとして、当社はイスラエルで注目を浴びているインキュベータであるTeam8の初期リミテッドパートナーとして参加しており、既に当事業年度末における実現・未実現を含めた評価額は投資金額の6倍超となっているなど、成果が出ております。今後については、本格的にイスラエルにおける投資育成事業の展開を強化するため準備を進めてまいります。

当期の概況

① 当期の概況

当事業年度における主な活動内容としては、DXやテレワークの進展により、ゼロトラストモデルの実現等、新たなセキュリティニーズへの対応を強化するために、新商品のリリースや既存商品の機能拡張といったポートフォリオの強化を進めてまいりました。その一つとして、ニューノーマルとなりつつあるテレワークやBYODにおけるセキュリティ対策としてのOS分離ソリューション「Hysolate Workspace」の販売を開始いたしました。従来のOS分離ソリューションでは、セキュリティと利便性の両方を満たすものがなく、導入に手間が掛かり大規模展開には時間を要するという課題がありました。「Hysolate Workspace」は、これらの課題をクリアした次世代型OS分離ソリューションです。

また、Check Point社から発表されたSASE（サシー）セキュリティソリューション「Harmony」と「Hysolate Workspace」を組み合わせることで、サイバーセキュリティの新潮流であるゼロトラストアーキテクチャをより高度に実現可能となります。

更に、Google広告を使ったデジタルマーケティングやオンラインセミナーなど当社取扱商品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。

これまで実施してきた取組の結果の一つとして、当社が取り扱うIoTトータル・セキュリティ・ソリューション「Karamba's Total IoT Security」と、クライアント端末のOS分離ソリューション「Hysolate Workspace」が、2021年4月に開催されたInterop Tokyo 2021においてBest of Show Award セキュリティ部門のグランプリと準グランプリをそれぞれ受賞し、1位と2位を独占する快挙を成し遂げました。

通期の見通し

通期の見通しについては、新型コロナウイルス感染拡大が未だ懸念される状況が続いており、当社の販売する商品やサービスの大型プロジェクトにおいて遅延や延期といった影響を及ぼしているため不透明な状況が続いております。しかし、セキュリティ対策の必要性から回復の兆しは見えてきており、プロダクト関連、サービス関連共に販売の伸長を見込んでおります。

プロダクト関連においては、過去に販売を行い実質的なデファクト・スタンダードとなった地方自治体向けファイル無害化ソリューション「VOTIRO Disarmer」がリリース時期を迎えるため、その需要取込に注力いたします。また、当事業年度から販売を開始したOS分離ソリューション「Hysolate Workspace」が前述の通りInterop Tokyo 2021セキュリティ部門において準グランプリを受賞したこともあり、市場でのリモートワークの有力ソリューションとして関心度が高まっております。これらの販売活動を推進し、既存の販売基盤からの上積みを図ります。

② 財政状態及び経営成績の分析

業績につきましては、テレワークなど働き方の変化やDXの進展に伴うサイバーリスクの範囲拡大による新たなセキュリティ対策の認識が高まり、マーケット拡大に向けた動きはみられたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発出等に伴う経済停滞の影響を受け、当社商品やサービスの販売チャネルにおいてシステム構築や納入の遅延が年間を通じて生じました。当事業年度後半には公共向けも含めた大型案件の調達の一部開始されたものの、大型案件が次年度以降に繰り越されました。一方で、コネクテッドカー分野においては、現在進行しているいくつかのプロジェクトで最終選考段階まで進んでいる等、来期以降への明るい材料の1つとして着実に前進しました。

上記の結果、売上高は2,795百万円となりました。コストについては、新型コロナウイルス対策として全社で在宅勤務を推進したことにより営業活動関連経費が抑制されたほか、貸倒引当金繰入の戻入を行ったことで販売費及び一般管理費1,202百万円となりました。しかし、売上の減少を取り戻すには至らず、各段階利益につきましては、営業損失52百万円、経常損失38百万円、当期純損失51百万円となりました。

当事業年度末における総資産は2,190百万円となり、前事業年度末に比べ213百万円減少しました。これは主に現金及び預金が76百万円、売掛金が63百万円、工具、器具及び備品が37百万円減少したことなどによるものであります。負債合計は696百万円となり、前事業年度末に比べ164百万円減少しました。これは主に買掛金が85百万円、未払金が19百万円減少したことなどによるものであります。純資産合計は1,493百万円となり、前事業年度末に比べ48百万円減少しました。これは主に当期純損失51百万円の計上などによるものであります。

サービス関連においては、従前より取り組んできた品質向上や体制強化、設備投資を継続的に進めることに加え、コロナ禍においても伸長しているクラウドにおけるセキュリティ対策分野での拡販活動を注力していくことで、ストックを増加させ、収益基盤を強固なものにいたします。

IoTおよびコネクテッドカーセキュリティに関しては、当社が販売するIoTトータル・セキュリティ・ソリューション「Karamba's Total IoT Security」が前述の通りInterop Tokyo 2021セキュリティ部門においてBest of Show Awardグランプリを受賞したことを受け、今後販売活動を加速してまいります。

一方、現在は新型コロナウイルス感染拡大の第4波が警戒されており、国内外における経済減速が懸念されます。前述の通り当社においては明るい兆しが見え始めているものの、通期の業績予想につきましては、現段階において新型コロナウイルスによる今後の影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。

業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

FINANCIAL DATA

決算概要

貸借対照表（要旨）

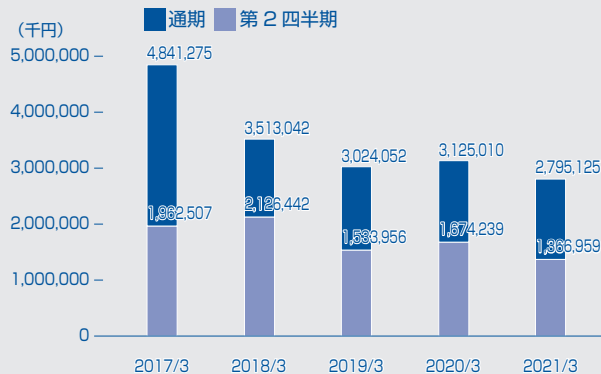
単位（千円）

科 目	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,663,622	1,834,212
固定資産	526,693	569,184
有形固定資産	237,008	277,100
無形固定資産	11,216	6,500
投資その他の資産	278,469	285,583
資産合計	2,190,316	2,403,396

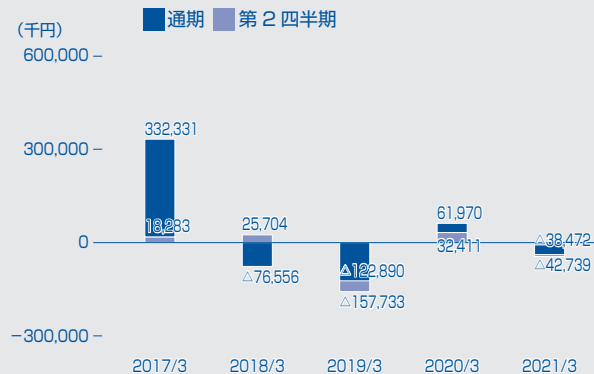
単位（千円）

科 目	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	581,702	747,948
固定負債	114,707	112,611
負債合計	696,410	860,559
純資産の部		
株主資本	1,497,491	1,549,199
資本金	771,110	771,110
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	21,551	73,259
自己株式	△369	△369
評価・換算差額等	△3,585	△6,363
その他有価証券評価差額金	△3,585	△6,363
純資産合計	1,493,905	1,542,836
負債純資産合計	2,190,316	2,403,396

売上高



経常利益

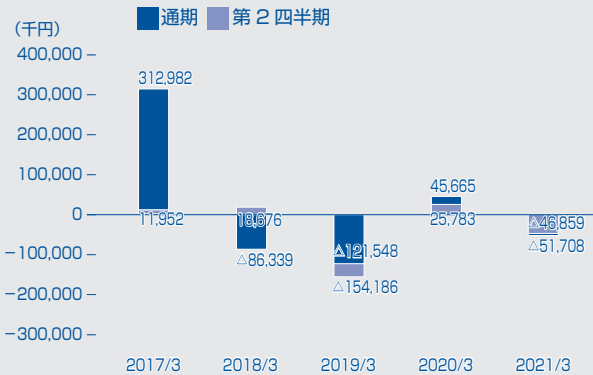


損益計算書（要旨）

単位（千円）

科 目	当 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	前 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	2,795,125	3,126,010
売上原価	1,645,049	1,746,126
売上総利益	1,150,075	1,379,884
販売費及び一般管理費	1,202,974	1,335,215
営業利益又は営業損失（△）	△52,898	44,668
営業外収益	16,152	20,847
営業外費用	1,726	3,545
経常利益又は経常損失（△）	△38,472	61,970
特別利益	—	4,589
特別損失	—	16,121
税引前当期純利益又は税引 前当期純損失（△）	△38,472	50,439
法人税、住民税及び事業税	2,290	14,305
法人税等調整額	10,945	△9,532
当期純利益又は当期純損失 （△）	△51,708	45,665

当期純利益



キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位（千円）

科 目	当 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額	91
現金及び現金同等物の増減額（減少△）	△76,328
現金及び現金同等物の期首残高	974,077
現金及び現金同等物の期末残高	897,748

株主資本等変動計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

単位（千円）

	株主資本				
	資本剰余金			利益剰余金	
	資本金	資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計
当期首残高	771,110	705,200	705,200	73,259	73,259
当期変動額					
当期純損失				△51,708	△51,708
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	—	△51,708	△51,708
当期末残高	771,110	705,200	705,200	21,551	21,551

	株主資本		評価・換算差額等		純資産 合計
	自己株式	株主 資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△369	1,549,199	△6,363	△6,363	1,542,836
当期変動額					
当期純損失		△51,708			△51,708
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			2,777	2,777	2,777
当期変動額合計	—	△51,708	2,777	2,777	△48,930
当期末残高	△369	1,497,491	△3,585	△3,585	1,493,905

TOPICS

トピックス

2021年4月

- メール無害化「Active! zone」が添付ファイル無害化「VOTIRO Disarmer」との連携を開始

2021年4月

- A** ●Interop Tokyo 2021にてアズジェントがエントリーした2商品が受賞の快挙

2021年4月

- B** ●コネクテッドカー・IoTセキュリティパートナーKarambaが機能拡充～IoT製品の開発・テストから運用までのトータルセキュリティを実現～

2021年4月

- C** ●クライアント端末のOS分離ソリューションHysolateがわずか数分で大規模展開可能なHysolate Workspaceとなり販売開始

2020年10月

- 島根県が語る「セキュリティクラウドの構築・運用の振り返りとこれから」～自治体セキュリティのこれまでの運用と今後について語るセミナー開催～

2020年6月

- コネクテッドカー・IoTセキュリティパートナーKaramba、SolarEdgeとのプロダクション契約を発表

2020年6月

- コネクテッドカー/IoTセキュリティパートナーKaramba社、フォーブス誌の2020年に注目すべきIoTスタートアップ企業トップ20社に選ばれる

2020年5月

- クライアント端末のOS分離ソリューションHysolate販売開始

2020年4月

- 経済産業省の定める「情報セキュリティサービス基準」へアズジェントの提供する3種4サービスが適合登録

A Interop Tokyo 2021にてアズジェントがエントリーした2商品が受賞の快挙

当社のIoTトータル・セキュリティ・ソリューション「Karamba's Total IoT Security」と、クライアント端末の分離ソリューション「Hysolate Workspace」が、Interop Tokyo 2021において、Best of Show Award セキュリティ部門においてグランプリと準グランプリをそれぞれ受賞し、1位と2位を独占する快挙を成し遂げました。

【Best of Show Award】

Interop Tokyoは1994年から開催されているインターネットテクノロジーの国内最大級のイベントです。Best of Show Awardsは、出展企業各社からエントリーされる選りすぐりの新製品を、有力メディア各社のキーマンと、学術界の識者によって編成される審査委員会が審査し、「今年の一品」を決定するアワードです。数多くのエントリーからファイナリスト審査会を経て決定します。

Karamba's Total IoT Securityは、他のIoT分野のセキュリティ対策製品とは異なり、セキュリティ機能の組み込み、脆弱性の検証、出荷後における脅威情報のモニタリングまでの、IoT機器におけるライフサイクルを広くカバーしていることが評価されました。既に欧州では太陽光発電等を含め10万台超のデバイスの稼働実績があり、今後、日本においてもセキュリティSDGsが要求される産業制御機器や車輛、オフィス、家庭用IoT機器等、広い範囲での応用が期待でき、DX（デジタルトランスフォーメーション）セキュリティを支える製品と成り得るとしてのグランプリ受賞です。

Hysolate Workspaceは、新型コロナウイルスの感染拡大によりテレワーク等、働き方改革が求められる昨今、BYODにおけるセキュアな環境を必要に応じ簡単に導入できることにより柔軟性の高い運用が可能となることや、ワークスペースOSにWindowsライセンスが不要な点等、導入時のハードルが低くなっていることが評価されました。今後多様な働き方がより一層推進されることが予想されており、様々な利用シーンへの対応も期待できるとしての準グランプリの受賞となりました。



【XGuard Monitorの管理画面イメージ】

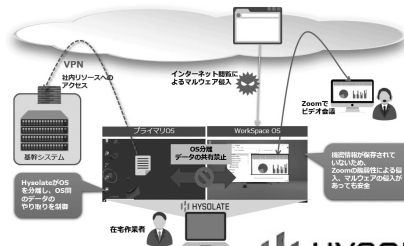


また、既に稼働しているIoT機器や運輸車両等に対しては、OTA機能を利用したファームウェアのアップデート時にXGuard Monitorのエージェントを追加することで、ファームウェアに修正を加えることなく、セキュリティ状況のモニタリングが可能になります。これによりEDR運用によるネットワーク経由での攻撃監視が可能となり、従前は対策が難しかった既存IoT機器や稼働中の車両等のセキュリティ対策を効果的に実現できるようになります。

【他の端末仮想化製品にはないHysolateのメリット】

- ### 【利用シーン例】

リスクのあるインターネットアプリケーションをワークスペースOSで実行



HYSOLATE

STOCK INFORMATION

株式の状況（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数 13,680,000株

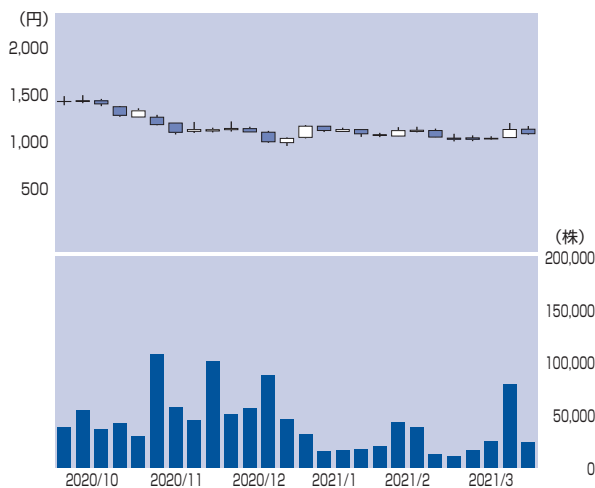
発行済株式総数 3,815,596株
(自己株式138株を除く)

株主数 2,939名

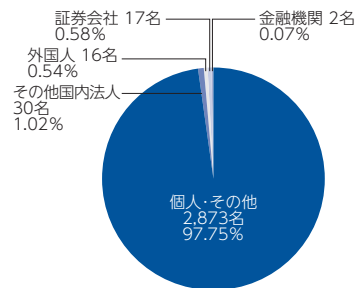
大株主（上位10名）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アズウェルマネジメント	1,766,100	46.2
杉本隆洋	112,300	2.9
楽天証券株式会社	99,400	2.6
会田研二	98,400	2.5
渡辺正博	67,700	1.7
株式会社オービックビジネスコンサルタント	63,600	1.6
松井証券株式会社	61,600	1.6
株式会社SBI証券	31,469	0.8
井上純孝	28,200	0.7
小西弦	28,100	0.7

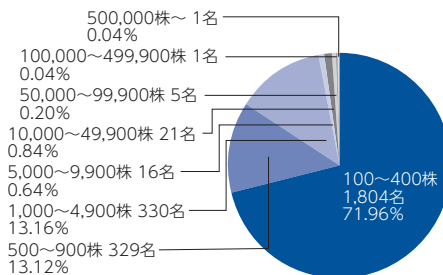
株価チャート（週足）



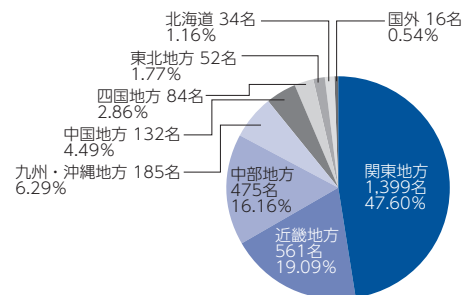
所有者別株主分布状況



所有数別株式分布状況



地域別株主分布状況



CORPORATE DATA

会社概要（2021年6月24日現在）



商 号 株式会社アズエージェント
英 文 名 Asgent, Inc.

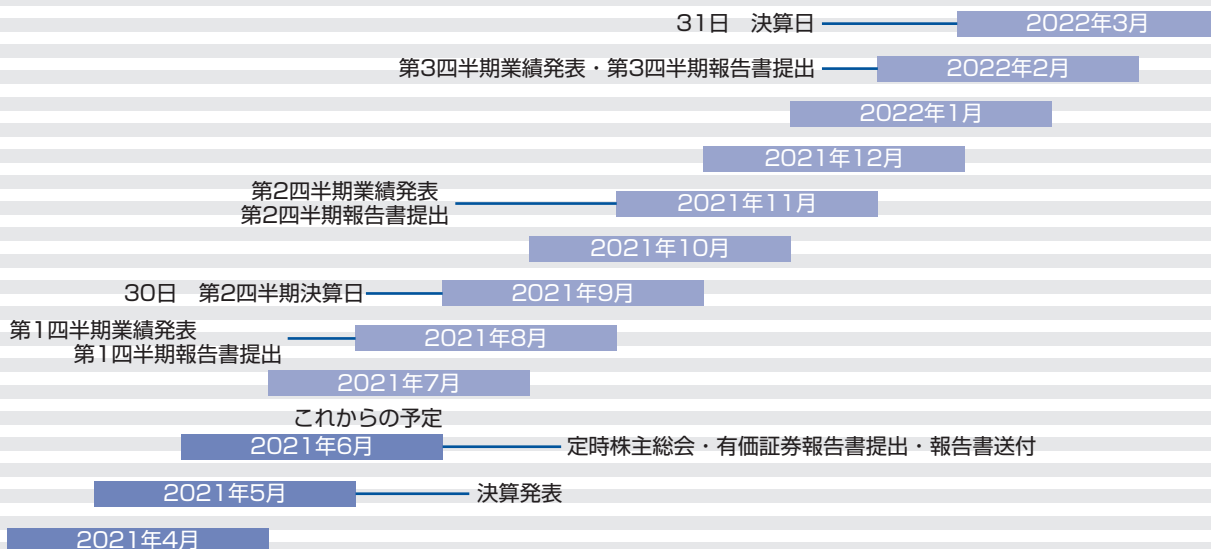
住 所 〒104-0044 東京都中央区明石町6-4
設 立 1997年11月10日
資 本 金 7億7,111万円
社 員 数 96名
事 業 内 容 ネットワークセキュリティ関連商品の輸入販売
及び保守、各種セキュリティ関連サービスの提
供並びにセキュリティ・ポリシー策定運用支援
コンサルティングやトレーニングの開催等

役 員

代表取締役社長	杉 本 隆 洋
代表取締役常務	葛 城 岳 典
取 締 役	杉 山 卓 也
社 外 取 締 役	三 森 裕
常 勤 監 査 役	宮野尾 幸 裕
監 査 役	鈴 木 一 郎
監 査 役	塩 谷 一 郎

IR CALENDAR

IR・株式カレンダー



株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 毎年3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日
剰余金の配当 3月31日
中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内 の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラスト라운ジではお取り扱いできませんので ご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行につい ては、右の「特別口 座の場合」の郵便物 送付先・電話お問い 合わせ先・各種手続 きお取扱店をご利用 ください。	特別口座では、単元未満株式の買取 以外の株式売買はできません。証券 会社等に口座を開設し、株式の振替 手続を行っていただく必要があり ます。

公 告 方 法 電子公告により行います。ただし電子公告によるこ
とができない事故その他のやむを得ない事由が生じ
たときは、日本経済新聞に掲載して行います。
< 電 子 公 告 掲 載 URL >
<https://www.asgent.co.jp/>



Asgent 株式会社 アズジェント

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4
6-4 Akashicho, Chuo-ku, Tokyo 104-0044 Japan
Phone : 03-6853-7401
URL : <https://www.asgent.co.jp/>